



# 絵と音は変わるのか？

## プラグとコネクタ—6種類—斉比較 テスター：亀山信夫

電源プラグ/コネクタ比較テストの方法

本誌初となる自作電源ケーブルの斉比較試験。今回は、電源プラグ/コネクタでどれくらい品位が変わるかをテーマにチェックした。テスターは亀山信夫さん。電源ケーブルは、ゴールド/スプラダの切売リケーブルG.5.#305nano3を用いて、1.5m長の電源ケーブル計6本を編集部で製作した。リファレンス機器とソフトは別項の通りで、音声チェック用にはソニーのAVセンターに、音質チェック用にビクターのプロジェクターに、それぞれ付属ケーブルとつなぎ替えて視聴している。なおフルテックのメガネコネクタはハイアノニックのDMP-BOT900について試した(編者註)

PART 2

フルテック ●東京支店/〒106 東京都港区新橋3-1-10 ●大阪支店/〒542 大阪市淀川区西中島3-1-1



**FI-15ME (R) + FI-15E (R)** ¥4,915 × 2  
●電圧/15V ●電流/15A ●ケーブル長さ/1.5m ●ケーブル径/φ1.5mm ●ケーブル径/φ1.5mm ●ケーブル径/φ1.5mm

中位域の豊かさが特徴的な組合せ。BD-9「源氏物語—千年の栞」を録音したBD-9の音声アレイシジョンは聴きこえを深めた音像感。其声もなかなか太い描写だ。音を言えば、音像輪郭を鮮明にするなどで、群像の妙を感じたかった。しかしBD-ROM「パプリック・エネミーズ」では、群像の個人の内面をいかにも多人数らしい辺りで観させる。人の顔を見る内面な鋭い音も結構な強さだ。ただ群像はちょっと柔らかな。全編茶畑音も少々軟弱傾向で、観音は若干平緩だ。しかし音域不足のAVセンターに使えば、思わぬ威力を発揮するかも。



**FI-28M (R) + FI-28 (R)** ¥15,290 × 2  
●電圧/28V ●電流/28A ●ケーブル長さ/1.5m ●ケーブル径/φ2.8mm ●ケーブル径/φ2.8mm ●ケーブル径/φ2.8mm

高い明瞭度で聴かせた印象の強い組合せ。「源氏物語—」はプレスも明確な群像音。アレイシジョンが同じと生々しい、引き締まった音像部の明確な立ちはだかり。鮮やかで群像感に富み、聴かせ上手なコンビだ。「パプリック」は少し味で聴せるが、音も明るく音声などの伝達に若干の厚みが増えれば良い。聴かせるように、しかしセリアはむしろ、群像の鮮やかな高のサウンドや個人の内面を鮮明に伝達。フィルムテープも意味深な音など、繊細な効果音も鮮明にトランス。編者のニュアンスを伝える。映像はワンランクアップの質感で聴かせた。



**FI-50M (R) + FI-50 (R)** ¥36,250 × 2  
●電圧/50V ●電流/50A ●ケーブル長さ/1.5m ●ケーブル径/φ5.0mm ●ケーブル径/φ5.0mm ●ケーブル径/φ5.0mm

FI-28ペアの種では少々インパクトに欠ける。と思いつたのもつ中の間、じわじわと厚みが湧いてくる。「源氏物語—」のアレイシジョンは、サ行の伝達感もない自然な、深い韻律を放つ。「パプリック」のサ行は、自然な韻律を放つ。ユートピアで視覚立つ韻律が魅力的だ。所感の大きな群像の展開はまさにフルサイズ。音声は豊かさを失わずに、群像の奥行き、実在感も出色だ。映像は以前より立体的な傾向。本誌に聞かないが、ディスプレイによってはコネクタが太く、うまく挿せないこともあるので確認したい。文句なしの逸品!